



宮城県業務説明会

森林職

**Miyagi
Prefectural
Government**

森林職の仕事

県産材の利用拡大など林業・木材産業の振興、森林の整備・保全に関する業務や、木材や特用林産物、森林管理技術、優良種苗の安定確保など試験研究のほか、環境緑化や野生生物の保護管理などの業務を行います。

配属先

本庁であれば林業振興課、森林整備課、自然保護課などで、地方機関であれば各地方振興事務所、林業技術総合センターになります。

自己紹介

宮城県出身

H23.3月 **県外大学卒業**

H23.4月～ **東京都や仙台市の公益財団法人で勤務**

H28.4月～ **北部地方振興事務所栗原地域事務所**
林業振興部 森林管理班（保安林担当）

R1.4月～ **水産林政部 森林整備課**
保安林班（保安林担当）

R4.4月～ **環境生活部 環境対策課**
環境影響評価班（環境影響評価担当）

R7.4月～ **水産林政部 林業振興課**
地域林業振興班（森林経営管理制度担当）

志望動機

なぜ公務員だった？

大学生だった当初は大学で学んだことを活かせる仕事がしたいと考えて就職先を決めましたが、公務員になった同級生たちが生き生きとして見えたことから、公務員に憧れをもち、転職を決めました。

なんで宮城県庁を選んだ？

家が転勤族で県内の様々な地域に住んだことがあるため、他県ではなく、一つの市町村でもなく、「宮城県」で働きたいという思いがあったからです。

担当した業務で大変だったこと

2 回目の異動で環境対策課に配属となり、林業分野とはかけ離れた「環境影響評価」を担当したことです。

風力発電所の設置や土地区画整理事業などを計画している事業者さんから、開発が環境に与える影響を調査、予測、評価して作成した図書を提出され、それを読んで意見書を作る仕事でした。

環境を構成する要素は様々あり（大気、水質、動植物など）、林業分野の業務では見かけない専門用語のオンパレードで、意見書を作るどころか、図書を読むのに大変苦労しました。

技術職であっても、必ずしも自身の専門分野の業務だけを任せられるわけではないということですね。

前職とココが違った！ 前職の経験が役に立った！



想像以上に席について書類仕事ばかりしています。前職ではフィールドで働く時間のほうが長かったのですが、宮城県の職員になってからは、森林職と言えど、席についている時間のほうが長いです。



前職では森の中で仕事をするが多かったのですが、様々な人と森を歩いていろんなことを教わりました。その時得た知識が、県の森林職となり、森を歩く時に役立っています。触るだけでかぶれてしまう植物や虫を見つけたら避けるなど、身を守ることに繋がっています。

私の公務員試験対策

一般教養試験対策としては、本屋で購入した公務員試験の対策本に取り組みました。

森林職の専門試験対策としては、森林・林業について学べる実務書と林野庁が毎年発行している「林業白書（受験年に発行されたもの）」の2冊だけをじっくりと読みました。

みなさんへのメッセージ

ぜひ、皆さんには森林職を目指していただきたいです。私のように大学などで林学を学んでいなくても働いている人たちがいますので、専門知識がないからといってあまり不安にならなくても大丈夫です。働きながら学べますので、森林職への少しの興味とやる気があれば大丈夫だと思います。